



農業分野におけるローカル5G活用の実証実験について

知多メディアネットワーク株式会社（以下当社、本社：愛知県東海市、代表取締役社長 松永 光司）はこの度、総務省より知多半島エリア初となる農業分野向けローカル5G（※）の実験試験局の免許を取得しました。これを受け、株式会社トクイテン（以下トクイテン、本社：愛知県名古屋市、代表取締役 豊吉隆一郎）と、愛知県知多市（以下知多市、宮島壽男市長）の協力の下、2023年11月より農業分野におけるローカル5G活用の実証実験を実施します。

当社は東海市・大府市・知多市・東浦町を対象とした放送通信事業者として、2030年に向けて「笑顔あふれる毎日とワクワクする未来の創出」をミッションに、街のにぎわい創出や安心安全なまちづくりに取り組んでいます。今回新たにローカル5Gを用いた実証実験をスタートし、無線利活用による地域DXビジネスを展開していきます。

今回の実証実験を通じて遠隔操作に用いる映像のリアルタイム共有や遅延の少ない通信制御が可能になれば、農業分野の大幅な効率化が期待できます。

なお、今回知多市には昨年度当社と締結した「知多市と知多メディアネットワーク株式会社との地域DX推進包括協定」に基づき、実証実験にご協力いただきます。

（※）ローカル5G

企業や自治体などが「自己の建物内」「自己の土地内」などで利用可能な独自の5Gネットワークを構築する自営無線サービス

5Gの特徴である「超高速」「多数同時接続」「超低遅延・高信頼」を局所的に実現できる

≪実証の概要≫

【実施場所】

トクイテン知多農場（知多市吹込4丁目86番地）

【実施期間】

2023年11月22日から2024年3月31日

【実証内容】

4.8GHz帯ローカル5G無線方式によりミニトマト栽培用ビニールハウス内に農業ロボットの遠隔操作環境を構築する。これにより詳細な映像伝送での状態視認や、遠隔操

作による収穫など緻密な作業に対するローカル 5G の有効性を検証する。

- ① ハウス内および周辺地域のローカル 5G 電波のカバー状況・通信容量・遅延測定
- ② 作物育成により電波が遮られた場合の品質への影響確認
- ③ 既存 WiFi 通信回線とのエリアカバー・通信容量・遅延の比較

知多メディアネットワークは、本実証実験を通じてローカル 5G の社会実装に向けた課題の抽出とさらなる機能の改善に取り組んでまいります。

〈本件に関するお問い合わせ〉

知多メディアネットワーク株式会社 技術サービス部 担当 若山/稲垣
TEL : (0120) 23-7707 FAX : (0562) 33-7693

《参考》

■知多メディアネットワーク株式会社

- (1) 事業内容 : ケーブルテレビ、インターネット、固定電話サービス
コミュニティ FM 放送「メディアスエフエム」
知多半島情報サイト「ちたまるナビ」の運営
フリーペーパー「ちたまるスタイル」の発行
- (2) 所在地 : 愛知県東海市下浜田 165 番地
- (3) 代表者 : 代表取締役社長 松永光司
- (4) 設立年月日 : 1996 年 5 月 8 日
- (5) 資本金 : 21 億円
- (6) 事業エリア : 愛知県東海市、大府市、知多市、知多郡東浦町
- (7) 株主 : 株式会社コミュニティネットワークセンター (出資比率 100%)
- (8) 事業規模 (2023 年 9 月末現在)
 - ① 対象世帯数 151 千世帯
 - ② ケーブル接続世帯数 93 千世帯
 - ③ STB コース加入世帯数 28 千世帯
 - ④ インターネット加入世帯数 46 千世帯
 - ⑤ 固定電話加入世帯数 40 千世帯

■会社名 : 株式会社トクイテン

所在地 : 愛知県名古屋市中村区井深町 1 番 1 号 新名古屋センタービル 本陣街 142 号室

設立年月日 : 2021 年 8 月 6 日

代表者 : 代表取締役 豊吉 隆一郎

愛知と東京を拠点に、生産者として有機農業を営みながら AI とロボットによる有機農業の自動化を目指すスタートアップ企業